

日本における令和6年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



きみは、知っていますか？ 42番

史上初のアフリカ系アメリカ人 メジャーリーガー ジャッキー・ロビンソン

現在、アメリカのプロ野球リーグ・メジャーリーグではさまざまな国の選手たちが活躍していますが、かつては人種差別が激しく、ほとんどの有色人種はプレイできませんでした。

アフリカ系アメリカ人選手の独自の野球リーグで大活躍していたジャッキー・ロビンソンは、メジャーリーグのドジャースからスカウトされ、1947年にメジャーデビューを果たします。ジャッキーがメジャーリーグでプレイすることについて、はじめは観客・相手チームのみならず味方選手からも反対され、激しいブーイングや嫌がらせも受けました。

しかし、そんな厳しい環境の中でも、ジャッキーは素晴らしい成績を残して新人王を獲得し、スター選手として活躍しました。

スポーツで人種差別の立ち向かう姿は、多くの子どもたちに希望を与えたといわれています。また、引退後には、積極的に公民権運動に参加し、人種差別の撤廃を訴えました。

その功績をたたえ、ジャッキーが付けていた背番号42番は、メジャーリーグのすべてのチームで永久欠番となっていますが、ジャッキーがメジャーデビューした4月15日の試合だけは、すべての選手、監督、コーチなどが背番号42番を付けてプレイしています。

「私やほかの黒人は、アメリカの国民としての当然の権利を要求しているだけで、それ以上のものを求めているわけではないのだ。」 ジャッキー・ロビンソン

もっと知りたいときは、映画『42～世界を変えた男～』

(2013年/監督ブライアン・ヘルゲランド/配給：ワーナー・ブラザース)

*1 1900年以降の「近代メジャーリーグ制」を対象にした、初のアフリカ系アメリカ人選手 *2 アメリカ公文書記録管理員ホームページより[東京都人権啓発センター] 参照 > *3 TOKYO人権 参照

女性の地位向上と女性教育に尽くした・・・

今年7月、日本の紙幣が20年ぶりに新しくなりました。新五千円札のデザインに描かれた、津田梅子。女性に高等教育の場を創り、高い志と熱意をもって女性の地位向上に力を尽くした梅子の生き方、考え方を見ましょう。

1871(明治4)年、日本で最初の女子留学生5人のうち最年少6歳でアメリカに渡った梅子は、その後、10年以上をアメリカで過ごしました。帰国後、アメリカと日本での女性の扱われ方、考え方の違いなどを実感します。梅子は、女性が高等教育を受けられる学校を創り、女性自身の意識を変え、男性と協同して対等に力を発揮できる人を育てました。視野を広く持って学ぶこと、そして一人の人間として自立して生きることの大切さを伝えました。

「一人ひとりの人生の航路には、ひとりで立ち向かわなければならない困難や問題がある。

将来は みなさん自身が決めるものです。」 津田梅子

